

古高取通信

平成29年 1月

私たちは、活動の四本柱を基に、まちづくりに貢献することを目指します。

- 1. 活動の拠点を創る
- 2. 古高取の知識を深める
- 3. 古高取の魅力を伝える
- 4. 次世代へつなげる

古高取を伝える会会報

直方の高取焼



古高取

目次

古高取の魅力伝える	2
古高取紹介	3
窯元紹介	4
活動の記録	4
なんでも掲示板	5

「ものをつくる手ごたえを」

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。

昨年十一月、筑豊美術展七十周年記念事業の一環として、六年生の抹茶椀四百六十個が直方中央公民館で展示されました。

圧巻という言葉を捧げます。

四百六十個という、数ではなく、一つひとつの形の違い、歪み、釉薬の流れが温かいテイストになっていることに熱くなりました。

自分で作るの自分しかできないという事を痛感しました。自分でつくる事の豊かさ、喜びを子供たちに感じてほしいものです。

自分でつくった茶碗には、自分自身の心のありようを変える不思議な力があるのではないのでしょうか。

この茶碗づくりの体験をもとに、歴史を見る目を育ててほしいものです。

歴史を見る目を持つことは、いまを見つめ、未来を拓くことでもあるといふことを、しっかりと伝えていきたいものです。

柴田ムツ子